

令和5年（2023年）12月5日

保護者の皆様へ

横須賀市立大津中学校  
校長 堀江 宏保

## 令和5年度 大津中学校の教育活動に対する評価のお礼と結果報告

日頃より、本校の教育活動にご理解とご協力をいただき、厚く御礼申し上げます。  
本年度実施した本校の教育活動アンケートにご協力いただき、誠にありがとうございました。集計結果がまとまりましたので、ここにご報告いたします。

また、この結果をもとに、今後の教育活動をより一層充実させていきたいと考えます。引き続き、ご理解とご支援を宜しくお願い申し上げます。

### 1. 実施時期、対象者

- 生徒アンケート 令和5年10月26日（木） 回答数 617人
- 保護者アンケート 令和5年10月26日（木）～11月6日（月） 回答数 516人

### 2. 結果報告

【良い評価を得た項目】 「あてはまる」「ある程度あてはまる」が90%を超えた項目

<生徒>

※A値＝「あてはまる」の割合（％） B値＝「ある程度あてはまる」の割合（％）

質問項目	A 値	B 値
学校の施設・設備などは、みなさんの安全のことを考えて管理されている。	55%	41%
学校は不審者対策など防犯意識の指導や地震や火災など緊急時についての説明や指導をしている。	58%	37%
学校生活の中で「ルール」や「マナー」「思いやり」について学ぶ機会がある。	58%	39%
保護者や地域の方、先生や友達に対して、言葉遣いやあいさつ、返事をしっかりすることができる。	54%	40%
学校は進路(なりたい自分になるための準備)について、適切な指導をしている。	47%	46%
学校は「努力したこと」は認め、「良くないこと」は指摘してくれる。	52%	41%
授業では「単元計画の提示」や「めあての提示」がしっかりとされている。 また先生は学習内容が理解できるよう授業を工夫し、教えてくれる。”	62%	33%
授業では「自らの考える時間」「(グループやペアで)話し合う時間」「自分の意見を伝える時間」が設定されている。	76%	23%
学校は、みなさんは学習成果を適切に評価している。	50%	44%
授業、部活動、委員会活動、学校行事などで自分の力を発揮することができる。	55%	39%
授業、部活動、委員会活動、学校行事などで主体的に活動することができる。	54%	38%

<保護者> ※A 値＝「あてはまる」の割合 (%) B 値＝「ある程度あてはまる」の割合 (%)

質問項目	A 値	B 値
学校の施設・設備などは、生徒の安全のことを考えて管理が行われている。	33%	63%
学校は不審者対策など防犯意識の指導や地震や火災など緊急時についての説明や指導をしている。	31%	60%
学校は社会の「ルール」や「マナー」について指導をしている。	37%	57%
学校は「相手を意識した社会性あるコミュニケーションの取り方(あいさつ等)」を指導している。	42%	51%
授業では「単元計画の提示」や「めあての提示」がしっかりとされている。 また先生は学習内容が理解できるよう授業を工夫し、教えてくれる。	27%	63%
授業では「自らの考える時間」「(グループやペアで)話し合う時間」「自分の意見を伝える時間」が設定されている。	41%	53%
お子様と情報モラルの取り扱いについて、家庭内で話し合いをし、ルールを設けている。	35%	57%
お子様を安心して学校へ送り出せる。	48%	47%

【課題となる項目】 「あてはまる」「ある程度あてはまる」の合計が 80%以下

<生徒> ※A 値＝「あてはまる」の割合 (%) B 値＝「ある程度あてはまる」の割合 (%)

質問項目	A 値	B 値
家の人とよく学校の話をしている。	45%	34%
学校で取組んでいる清掃活動や身の回りの整理整頓を、家庭でも自ら進んでできる。	28%	43%
家庭学習(自ら課題を見つけて、自主的に学習する)が習慣になっている。	28%	34%

<保護者> ※A 値＝「あてはまる」の割合 (%) B 値＝「ある程度あてはまる」の割合 (%)

質問項目	A 値	B 値
学校は「なりたい自分になる」ために、適切な指導をしている。	19%	57%
ホームページ、マチこみメールなどで、学校の考え方や様子がわかる。	25%	52%
学校は、学校行事で地域と生徒が関わる機会を設けている。	28%	50%
学校で取組んでいる清掃活動や身の回りの整理整頓を、家庭でも自ら進んでできるようになってきた。	11%	40%
お子様が家庭学習(自ら課題を見つけて、自主的に学習する)を行っている姿を見ることができた。	23%	41%

### 3. 評価結果の分析と総評

昨年度同様、多くの質問項目で「あてはまる」「ある程度あてはまる」の割合(肯定的回答)が生徒・保護者とも 90%以上でした。特に、「授業の工夫」や「自らの考えを持ち、課題解決をする機会の設定」に関して、生徒・保護者ともに肯定的回答が高くなっていました。次年度以降も授業を大切にしたい取り組みを行っていきたいと考えています。しかし、「家庭学習の習慣化」「整理整頓の取り組み」などは、昨年度からの課題であり、今後、学校として取り組む必要があると感じています。

### 4. 今後の取り組み

アンケート結果より、「家庭学習の習慣化」が課題であると考えられます。家庭学習に関しては、取り組み方を学び、卒業までに自ら学ぶ習慣が付けられるよう検討していきたいと考えています。また、学校で学習したこと(勉強面・生活面)を家庭で発揮できていない点も課題として挙げられます。この点に関しては、学校だけではなく家庭とも連携をとり、生徒が成長できるよう検討していきます。